

平成29年度フードスペシャリスト資格取得者の就職状況に関するアンケート集計結果

日本フードスペシャリスト協会

平成30年11月1日

調査の概要

1. 調査の目的

平成29年度フードスペシャリスト資格取得者の就職状況の把握を目的とする。

2. 調査方法

1) 調査対象

平成29年度フードスペシャリスト資格取得者(平成30年3月31日時点) 3,690 名

2) 調査方法

郵送による配布・回収

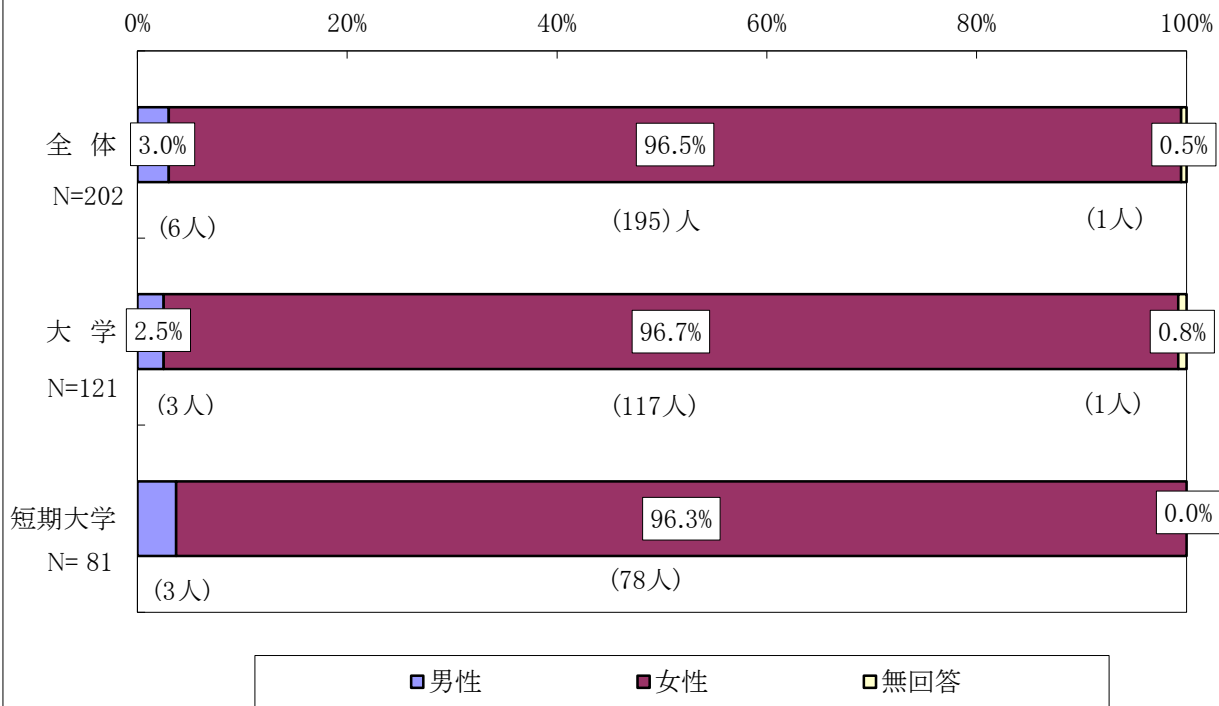
3) 調査期間

平成29年3月1日～8月31日

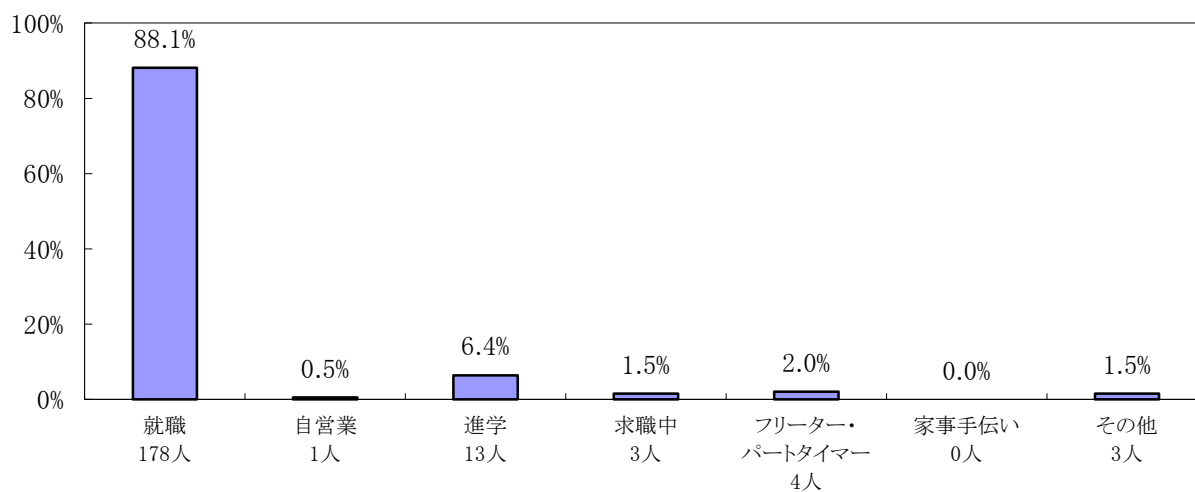
4) 回収状況

	標本数	回答者数	回答率
大学生	2,589	121	4.7%
短大生	1,101	81	7.4%
合計	3,690	202	5.5%

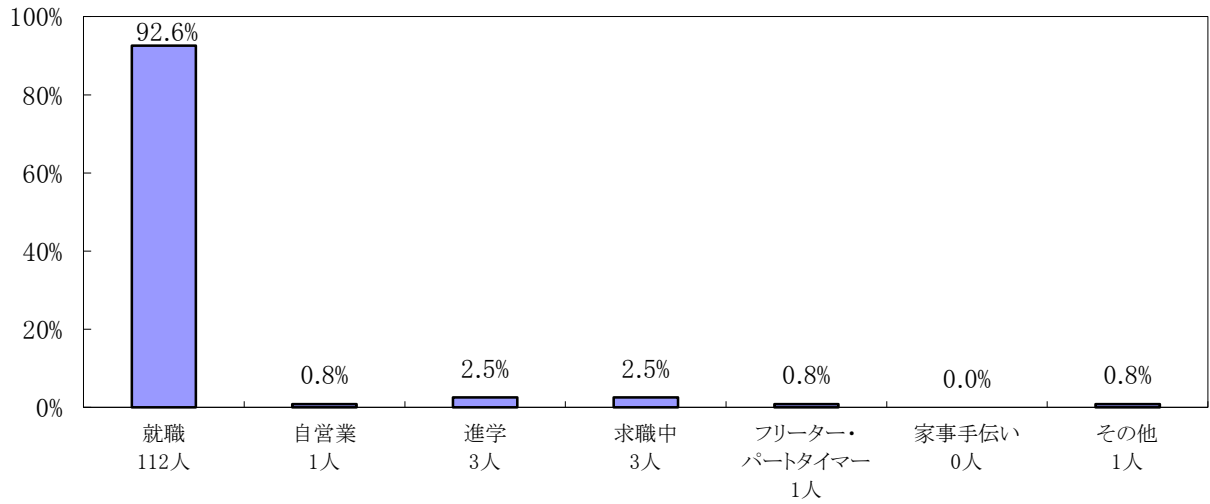
性別



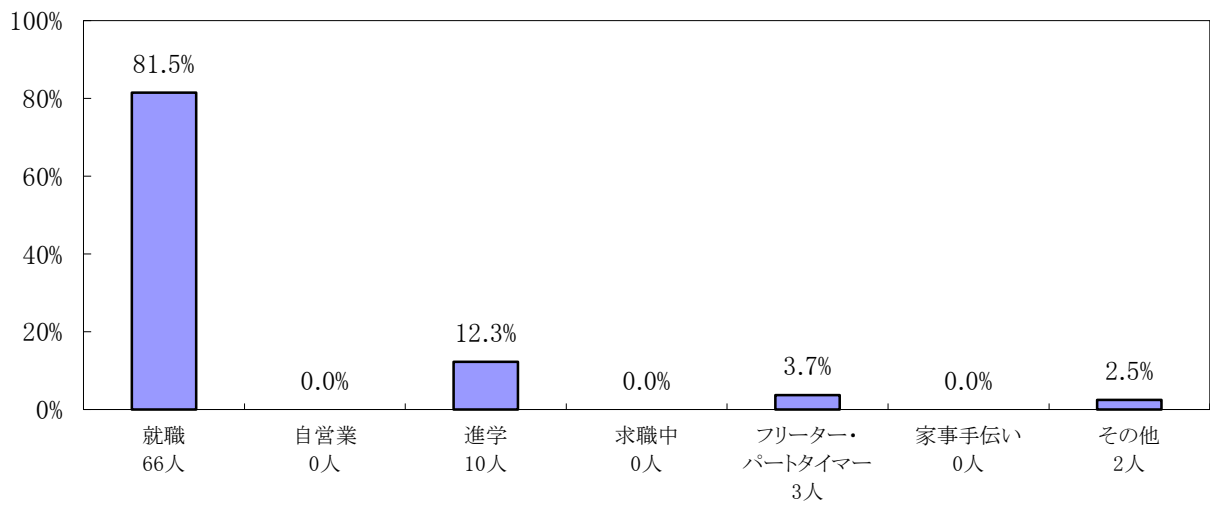
問1. 卒業後の進路(全体)



問1. 卒業後の進路(大学)



問1. 卒業後の進路(短期大学)



問2. フードスペシャリスト資格以外に取得した免許・資格(複数回答)

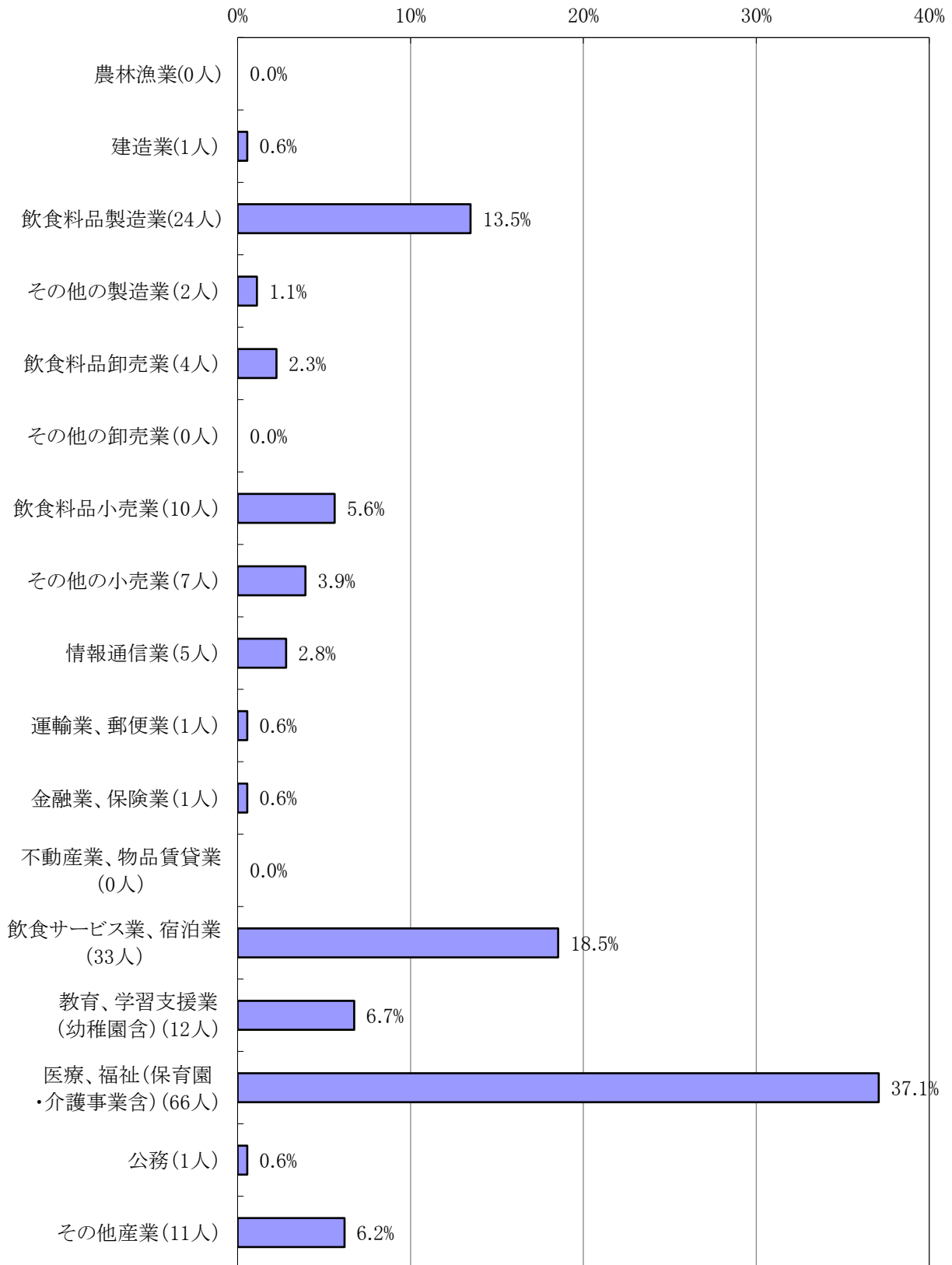
【 大学 】

免許・資格の名称	人数	構成比	備 考
(回答者数)	94 名		
栄養士	80 名	85.1%	
管理栄養士	71 名	75.5%	
食品衛生管理者	37 名	39.4%	
食品衛生監視員	33 名	35.1%	
調理師	5 名	5.3%	

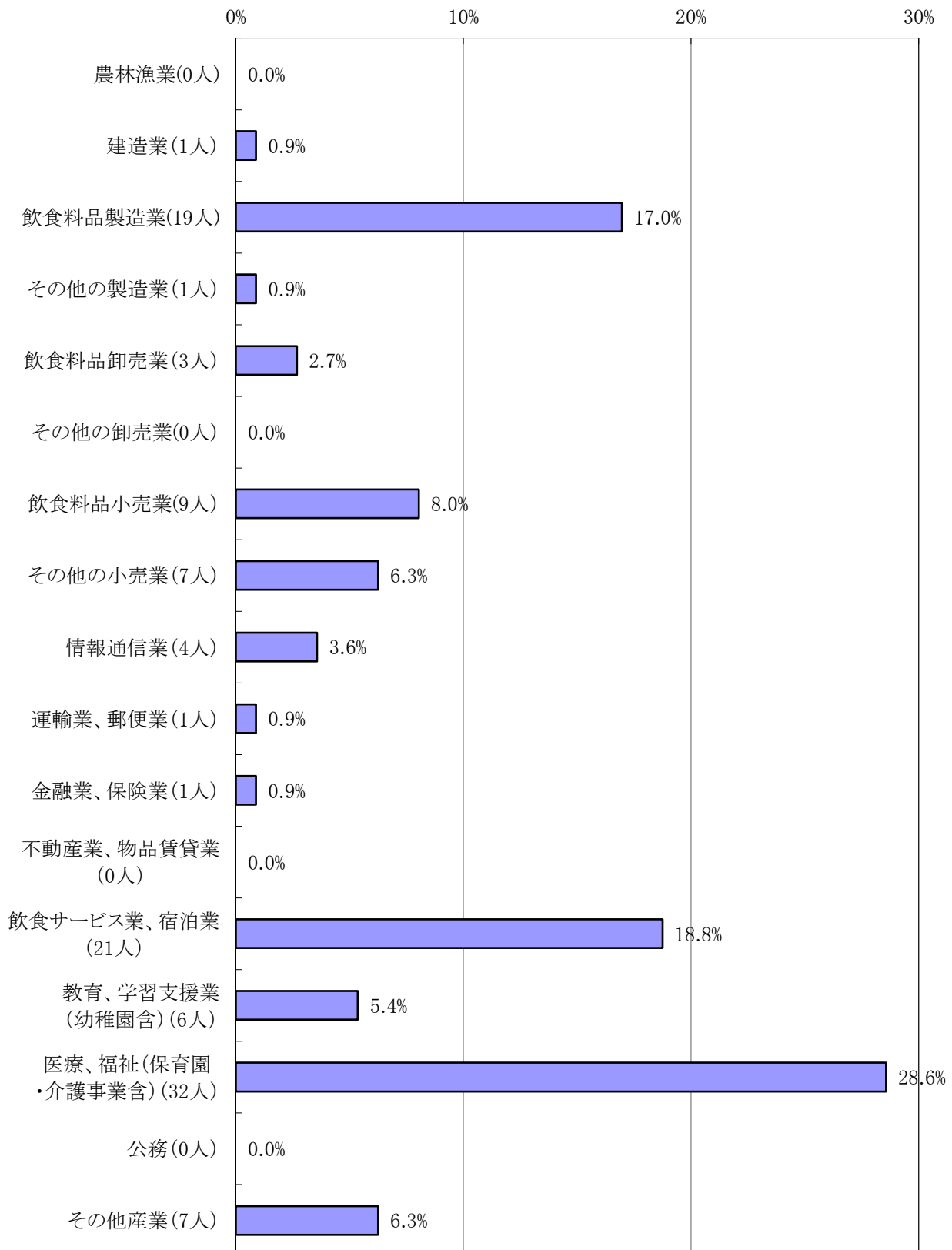
【 短期大学 】

免許・資格の名称	人数	構成比	備 考
(回答者数)	79 名		
栄養士	75 名	94.9%	
食品衛生管理者	3 名	3.8%	
調理師	13 名	16.5%	

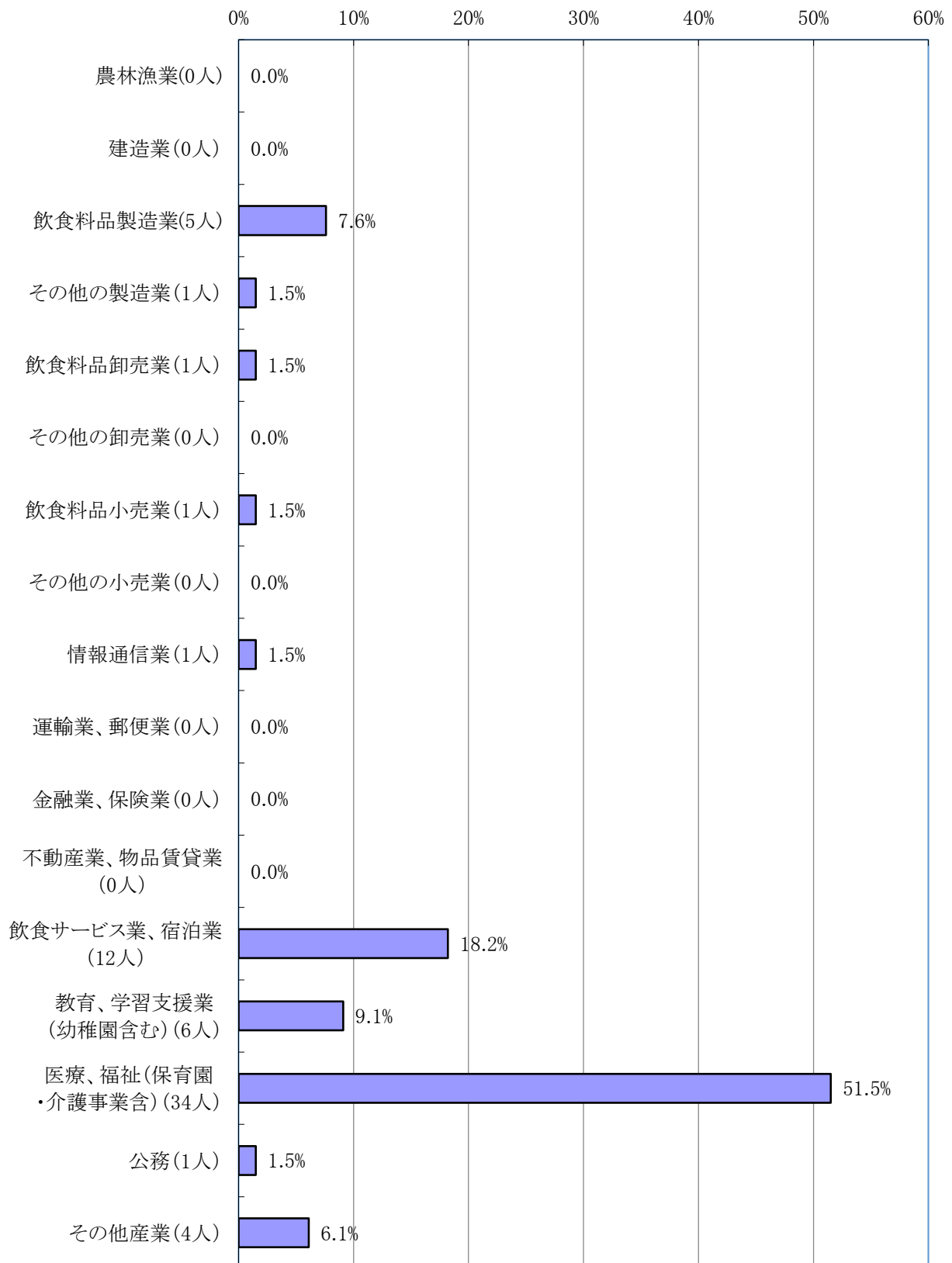
問3. 就職先の業種(全体)



問3. 就職先の業種(大学)

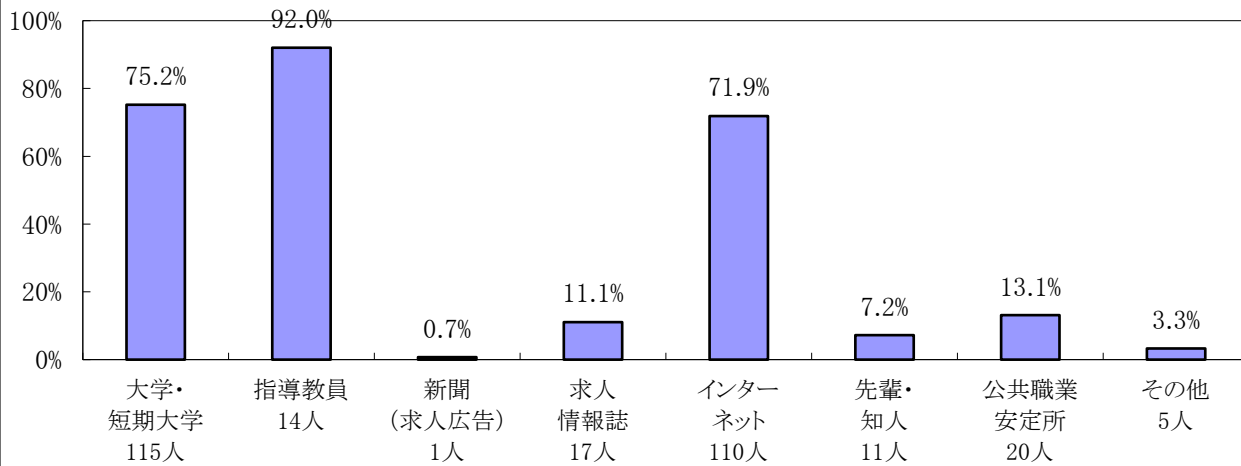


問3. 就職先の業種(短期大学)



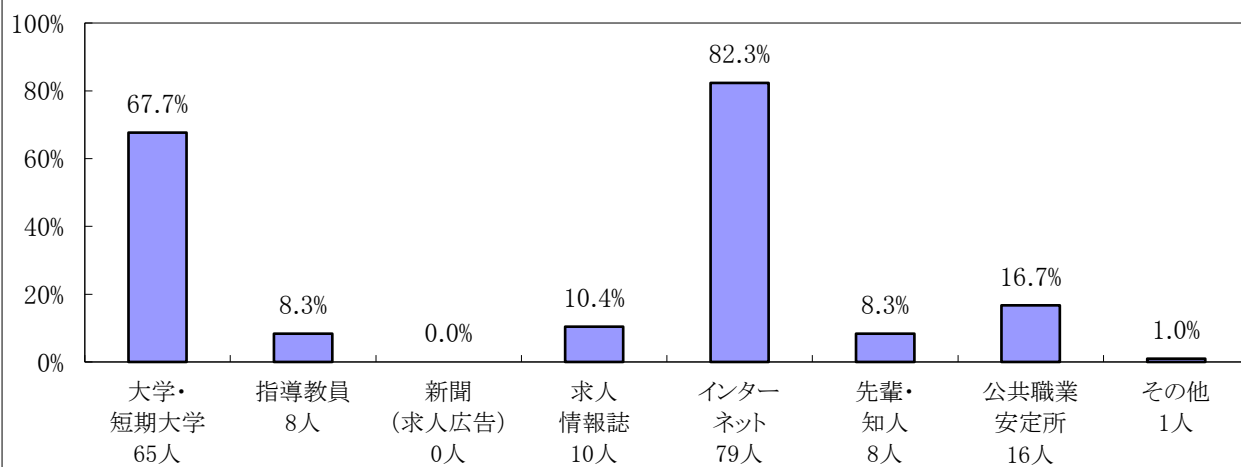
問5-2. 求人情報の入手手段(全体)

(複数回答可)



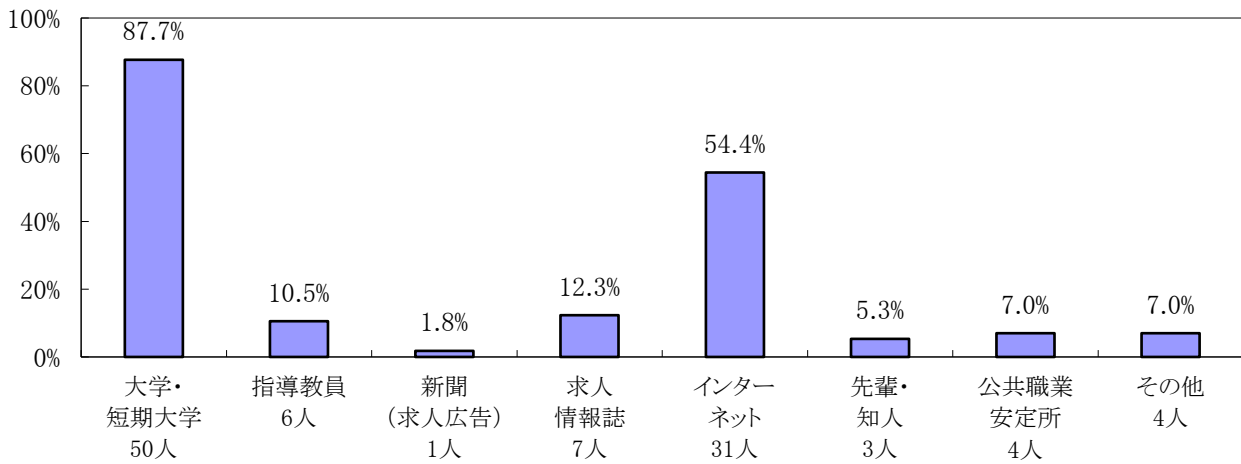
問5-2. 求人情報の入手手段(大学)

(複数回答可)



問5-2. 求人情報の入手手段(短期大学)

(複数回答可)



問6 フードスペシャリスト資格制度を充実・発展させるため、協会・機関の在り方に対しての自由記載(抜粋)

今回のアンケート調査では「資格取得者として認知度を上げる活動をしたい」と頼もしい前向きな記載もありました。認知度向上に向け協会は一層の努力をしておりますが、養成機関関係者また資格取得者の皆様の活動も大変重要かと思えます。期待しております。

就職活動で食品関係の企業では資格が役に立ったと感じました。しかし、面接で「栄養士は献立を考えたり、食品衛生管理者は飲食店に必要ですが、フードスペシャリストの資格を持っていて意味があるのですか」と聞かれたときは困ってしまいました。その答え方も教えてください。

就職活動中、食品メーカーでも資格欄の「フードスペシャリスト」がどのようなものか知らず、よく尋ねられました。まだまだ浸透していない。管理栄養士、栄養士のように名の知られる資格になることを資格取得者として願うばかりです。

フードスペシャリストの資格を直接活かせるような職業が確立されると嬉しいです。もっとフードスペシャリストの詳しい定義があると就職活動にも活かせると思いました。

就職活動を通して、フードスペシャリストという資格の知名度がまだまだ低いと感じました。資格取得者として、これからも協会と共に世間の認知度を上げる活動をしたいと思っています。

北海道など地方の会員向けへのイベントや勉強会も開催して下さると嬉しく思います。

フードスペシャリストという資格がまだまだ無名のような気がするので、どのようなことができるのかなどアピールをすることでより取得する人が多くなるのではないかと。倍率が上がることでより優秀な人材が生まれてくると考える。

教科書で様々な分野を広く扱うため一つ一つがあっさり終わってしまう感じだった。多少テキストが厚くなってもいいのももう少し掘り下げて学べると面白いと思う。

合格ができるよう対策講座を受講していたが、プリントや問題集を解くことがメインだったのでもう少し解りやすい解説を書いてほしい。また、全員が合格できるような、指導や勉強法を紹介すればもっと合格率があがると思う。

フードスペシャリストとして活躍している方との交流やセミナーを通して、認知度の向上と活動の場を広げるような機会があれば是非参加したいです。

フードスペシャリストの資格を浸透させたいです。私も取得しましたが、どこで、どのように利用すればよいか、わかりません。